

多言語多文化研究に向けた複合型派遣プログラム
派遣先機関等利用マニュアル

平成 24 年 10 月 31 日

派遣者氏名（専門分野）	水田 百合子（映画研究）
-------------	--------------

派遣期間	平成 24 年 9 月 10 日 ～ 平成 24 年 9 月 24 日
------	-------------------------------------

派遣研究機関

国	都市	訪問機関
フランス	パリ	シネマテーク・フランセーズ図書館 研究者閲覧室

利用マニュアル（利用申請に必要な書類、手続き、リサーチ方法を記入）

①シネマテーク・フランセーズ（Cinémathèque française）の図書館（Bibliothèque du film）に入館するために、二階の受付で入館料を支払う。一日券は、3,50€。映画を専門にする学生と 26 歳以下は、三ヶ月 9€というお得な券もある。その場合、学生証あるいは年齢を証明するものの提示が必要。その他に、年間券がある（学生・教員 15€, 一般 34€）。図書館は、ビデオテーク（Videothèque）、図書室（Ouvrages）、雑誌（Espaces périodiques）、イコノテーク（Iconothèque）、研究者用の閲覧室（Espace chercheurs）から成っており、Espace chercheurs 以外は、その日の入館券があれば自由に資料を閲覧できる。ロッカールームに荷物を預ける。勉強道具は、透明の袋に入れて持ち込むことができる（袋は受付でもらえる）。

②研究者用の閲覧室（Espace chercheurs）では、出版されていない資料、貴重図書を閲覧することができる。利用するためには、書類申請と予約が必要である。住所・身分・所属・研究内容・研究指導教官などを書き込んだ所定の申請書を、係員へ提出する。シネマテークのサイト上にある検索エンジン（Ciné-Ressources）で閲覧したい資料を見つけたら（dossier(s) d'archives に分類されているものが、基本的にこの閲覧室でしか見られない資料。他にも、壊れやすい書物や、古くて扱いに注意が必要なものなどこの閲覧室のみに限られているものもある）、資料番号（Référence）をメモし、48 時間前までに、電話あるいは現地で閲覧日時の予約をする。

注意事項：

- ◇ 資料の追加がある場合その場ですぐに予約ができるが、48 時間後にならないとその資料が届かないため、閲覧できるのは 2 日後以降になる。
- ◇ 閲覧室では、ペンの使用が禁止されている。鉛筆を忘れた場合は、係員に借りることができる。パソコンは持ち込み可。各デスクにコンセントがある。
- ◇ 基本的に、資料のコピーは、10 パーセントに限り許可されている。ただし、壊れやすい書物はコピーを断られることがある。書物を写真に撮るのも、同様の規定のもと許可されている。
- ◇ 一度閲覧し終わった資料を、もう一度後日閲覧したい場合は、その旨を係員に伝え棚に置いておいてもらえる。何も伝えなければ、元の場所へ戻される。
- ◇ 階下にある書物を閲覧室に持ち込むことができる。複数の資料を比較したい場合は、その旨を伝えれば、二種類以上の資料を同時に広げて見ることができる。